

留 学 報 告 書

記入日:2020年3月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	デンマーク
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: コペンハーゲン大学 現地言語: デンマークおよび英語
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年2月10日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:2月上旬～7月下旬 2学期:8月下旬～12月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3万人8000人ほど
創立年	1479年

留学費用項目	現地通貨 (デンマーククローナ)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のためなし
宿舍費	20000	320000円	
食費		50000～70000円	
図書費		8000円	
学用品費		3000円	
携帯・インターネット費	144*5	15000円	
現地交通費	200*5	32000円	外口代 (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		50000円	
被服費		5000円	
医療費		0円	
保険費		60000円	形態:
渡航旅費		80000～120000円	
ビザ申請費		1500円	
雑費		150000円	ヨーロッパ・アフリカ旅行
その他		円	奨学金
その他		円	
合計		円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田国際空港 目的地: コペンハーゲン空港 経由地: タイ国際空港	
復路 出発地: 香港国際空港 目的地: 中部国際空港 経由地: taiwan	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: タイ航空 料金: 約80000円 _____ 復路 航空会社: 中華国際航空 料金: 10500円 ∴合計: 90500円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> その他(明大サポート・Google flight)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: signalhuset) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
housing foundation の仲介サイトにて。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
時差関係なしに、デンマークの時間で全学生が、一斉にメールから入りたい寮に応募するので、夜中その寮をとるのに苦労しました。予め入りたい寮を決めて、メール前後は、ある程度時間と良いネットワーク環境を保っていたほうが良いです。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
旅レジや外務省からのメールにて。擦られそうになったが速やかに人が多い場所にならせた。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
とてもよかった。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
資金調達はほぼ日本で作ったクレジットカードで対応できたがデビットカードを持っていくとなおよい。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
特にありません。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30etcs 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未確定 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Danish Welfare Model	デンマークの社会福祉モデル
科目設置学部・研究科	経済学部
履修期間	1セメスター間
単位数	7.5etcs
本学での単位認定状況	7.5*2/3=5 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回
担当教授	prof Bjarne
授業内容	北欧で用いられている福祉制度「高福祉高負担」を様々な面から多角的に分析したり他国のモデルと比較しながら理解を深める そのデンマークの高福祉モデルが経済的に、社会にどう影響があるのか 講義と議論、そしてインテンスな試験を通して学ぶ。
試験・課題など	課題:教授執筆本を毎回の講義前に100ページほど読む。 試験:議題が4問ほど出され、独自の分析や経済的統計資料をもとに5日間以内で論じ提出する。とてもむずかしかった。
感想を自由記入	講義全体は新しく知ることばかりでとても面白かった。別キャンパスで朝早い時間からだったので気持ちも体力も少し疲れてしまうことが多かったが、教授がきさくで前列に座るといつも話しかけて下さって、ジョークを言って笑わせてくださったりしてとても楽しかった。今また会いたいとも思う。しかし、試験が日本とはるかに違う形式、集中的、そして過酷だと感じた。周りの留学生と協力しながら徹夜したのは今でもいい思い出です。成績は取りづらいです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Danish Culture Course	デンマーク文化・社会
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	1セメスター
単位数	7.5etcs
本学での単位認定状況	5 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と excursion (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	
授業内容	デンマークの文化・社会構造
試験・課題など	課題:読み物 80%以上の出席
感想を自由記入	多人数講師制なので毎回ピックが変わり雰囲気も違って面白かった。アカデミックというよりは、どちらかというとカジュアルな雰囲気で履修する international students も多かったのによくそこそお話ししたりして自然と仲良くなれた。それがよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Philosophy : The challenge of Existence Soren Kierkegaard		デンマーク哲学:ソレン・キルケゴールの哲学	
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	1セメスター		
単位数	15ETSs		
本学での単位認定状況	10単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 議論 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1~2回		
担当教授			
授業内容	デンマークの哲学者であり「死に至る病」の著者であるソレンキルケゴールの哲学。キルケゴールの提唱する実存主義の中でも宗教的方向から読み解くのではなくあらゆる方面から映像・本・議論などを通して多角的に学ぶことができた。		
試験・課題など	課題: 読み物 毎講義 試験: 中間レポート・期末レポート		
感想を自由記入	教授にとってもお世話になった。周りのレベルに圧倒されたり、触れたことのない哲学をとってしまったことに場違いだと感じるほどはじめは大変で止めようと思いましたが、先生に講義後相談したりメールのやり取りをしてアドバイスをたくさんいただきました。あたたかく良い雰囲気先生・講義でした。今でも自分の広げたい分野の一つです。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3) 就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	自分の興味や関心のあることについて勉強したり話を聞いたりする。先輩や先生、あらゆる方向で活躍している同期の方々たくさんお話をし、自分のそれは何か。ということをよく考える。漠然の「留学行きたい」を「どこで何がしたい」にかえるようにする。
4月～7月	英語力がなかったので、とにかく office hour に通ってよく話せる先輩の勉強法を聞き出しては真似をしていました。
8月～9月	フィリピンインターンシップ・TOEFLiBT 受験
10月～12月	二次試験・面接
2019年 1月～3月	秋からの留学前に実践的で多角的視野を得られそうな機会やイベントに応募したり選考を受けたりした。奨学金関係選考など。
4月～7月	デンマーク留学関係の書類・VISA・航空券取得 留学前に興味のある分野について英語で学習を深める。「語学×興味」は辛くなく続けられる。人と夢や目標をよく話す。
8月～9月	日米学生会議参加終了後2日後にデンマークへ出国だったので、急いでパッキングをして気づいたらコペンハーゲンの街並みが広がっていた。日米学生会議ではかなり自分的に悔しい・不燃焼感が残ったので留学中はなんとしても悔いなく終わりたいと飛行機のなかでメモした。その土地に降り立つ直前になぜここに行くのか、何をしたいのか、帰るときどんな自分になっていたかを明確にすると気持ちも高まると思います！
10月～12月	日本にいたときは自らの興味関心を狭めてたように感じた。というのもデンマークで体験する多くのことが新鮮で楽しくて、今までSDGsに基づく自分の興味外だった分野をイベントや交流活動を通して「深めたい」と思うようになった。いい意味で1が0になった経験であり、ターニングポイントと言える。
2020年 1月～3月	帰国前に一人旅をたくさんした。一人旅と言っても現地でできた友人たちやご家族に案内してもらったので終始新鮮なコミュニケーションに心が弾み、海外で旅することが楽しくてしょうがなくてヘマをしつつもどうにか地元の名古屋にゴール。税関でたくさん喧嘩越しになったり、たくさん没収されてしまったり、砂漠で迷ったりもしたけれどこの6ヶ月間おえて、悔いは全くなし。 日本には割とすぐに慣れた。お味噌汁・白米が4倍美味しく感じました。
4月～7月	self quarantine and isolation!
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

はじめに、きっかけはフィリピンのスラム街でのキラキラした子供達と家族の笑顔でした。渡航前は、SNSなどで書かれてることだけを信じてしまい「スラム＝汚い・貧困・可哀想・不幸」そんなイメージを抱いていましたが、実際に自分で足を運び目で見て感じ、人と接することで180度反対の事実をしり驚きと「もっと知りたい。知らない世界がある！」と考えが変わったのが大きな理由です。

そこから、人の幸せとは、幸福とは何か、人が(主に先進国諸国)が決めつけがちな「幸福度」とは何かすごく気になるようになりました。そこで国連が出す「幸福度ランキング」でデンマークが毎年上位にランキングしていることがとても気になり、ちょうど今年から明治大学の交換留学枠で派遣が可能だということでもよわずコペンハーゲン 大学一択で受けました。

渡航前にこのような疑問・世界に対しての懐疑心などを抱いてデンマーク に行きましたがついてからは色々な意味で予想外の連続でした。「みんなが平等」でいることがデンマーク社会では最重要であるが故に自分が日本で培ってきた価値観すら崩れるようなそんな出会いと経験が多かったです。価値観のぶつかり合いから、言い争いになってしまったりなかなか「日本人特有の壁」を排除できなかった私は少しナイーブになってしまうこともありましたが、今そういうことがあったからこそ、そのとき彼らと一生懸命に話したことや自分と相手に向き合うことができたのは本当によかったです。

「留学楽しかった？」と帰国後に聞かれる質問にいつも「楽しかった！！」とは言えません。

それだけ濃くて辛いこともあって、順風満帆な毎日ではないからこそ見えてくることややりたいことに真に貪欲になれたから「楽しかった」の一言で終わらせるなんてできません！。パーティーや交流の楽しさだけでなくいろんな体験ができます！

それだけ、素敵でたくさんの人と自分に出会って、世界と価値観を広げられる場所です。

どんな場所に行くにしても、留学は皆さんにとって大きな機会だと思います！

皆さんの色がでた素敵なターニングポイントになるよう応援しています！